

渡辺市長との意見交換会IN相川<高千地区>質疑要旨

日時：令和5年3月5日（日）13：30~15:00 会場：相川自然休養村管理センター 2階和室

参加人数：31名

1. 市政について

市長より説明	(説明内容) ○人口減少の問題について ○移住定住について ○空家の問題について ○大雪災害について ○脱酸素エネルギーについて ○世界遺産登録の状況について ○地域コミュニティ交付金について ○トキエアーについて
--------	---

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
大倉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トキエアーの話で島民が島外へ行く場合、空港だけでなく空港周辺の駐車場を安くしてほしい。</li> <li>・島内が結構広く、バスだけの移動だと観光客は十分楽しめないと思われるので、観光客のためのレンタカーを整備してほしい。</li> <li>・両津港周辺の駐車場を安くしてほしい。1週間程とめるとかなりの料金になるため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行機が9人乗りから40人乗りになるため、若干の駐車場の整備が必要と考えている。</li> <li>・以前の空港にレンタカーの窓口があった。バスの路線、レンタカーも当然いると思うので、ご意見として県と協議をしていきたい。</li> <li>・両津港は国の事業で7、8年をかけて建物全体の他、駐車場についても改修をする予定なので、大きな期待をしている。</li> </ul>	交通政策課
北川内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高千小学校の学童を再開してもらいたい。市子ども若者課に聞いたら最低10人の登録が必要との回答があったが、高千小学校が全校児童が20人弱の中で難しい問題だが、市長はどのように考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは他でも言われている。預かり場所を1人、2人のために作るかという行政の場合必ず出てくる問題。10人が良いかは別として、こういう要望をどんどん出してもらい、子ども若者課に色々な形で検討させるようにする。すぐには簡単に答えは出ないが、民間の人たちで預かってもらう等も含めて検討させていただきたい。</li> </ul>	子ども若者課
後尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高千にあった保育園の子育て支援センター、児童クラブのいずれもなくなり、市民病院で働きながらの育児が大変きつい状態。私が後尾に住んでから2組の1ターン夫婦が3年以内に転出しており、親族もおらず、子育てに対する支援がない中、若い世代を呼ぶのは中々難しいと考える。佐渡市として今後を見据えた時に、何かアイデアなどあったら教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこは私自身一番困っている。今後、議場が金井に移転し佐和田に場所が空くので、例えば保健師を置いて相談ができる場等、子育て世代のための拠点にしたいと考えており、図書館とも色々話をしている。</li> <li>・学童があった方が良いのは分かるが、各集落に一つ学童を作るのかという話になり、無理な形になる。本当に大事な事だと思ってるので、担当課にも伝え、議論し、地域と連携しながらやれることはやりたい。</li> <li>・学童と保育園を一つに考え、何かできないかを担当課と話し合ってみる。</li> </ul>	子ども若者課
後尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ほど、どんなことを具体的に考えているかという話があったので、思ったことをお話しする。学校では、病気でなくともそこに行って話をして落ち着く等、保健室という環境がある。私は看護師の免許を持っているので、保健室の地域版の様な形で老若男女が休める場所が作れたらと考えている。これを経営・運営可能なら助産師の資格を取り、赤ちゃん連れにも対応したいとの将来ビジョンがある。次に子どもから一言申し上げる。</li> <li>・今、高千小学校の5、6年生で、ツイッターを使い、高千の魅力を発信する高千いきいきプロジェクトというのをやっている。今月7日と9日に発信する予定なので見て欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの考え方で、ありだと思う。ただ、役所が関わると法的に様々な制限がかかってくるので、民間でやってくれる人がいると委託の様な形で、高齢者も若者も子どもも集まるものができ、ありだと思う。ただ、安全性の問題、それをどうクリアするか等、設置にあたりお金を取る場合は様々な規制もかかってくるが、面白いと思う。全てに行政が入り行政の経費でやっていくのは人口の数や色んなバランスにより全部は賄いきれなくなるので、民間でそういう力を活かしていくことはすごく大切だと思う。</li> <li>・ありがとう。すばらしい。私はツイッターを使っていない、フェイスブックを使っています。見てみます。ありがとう。すごく大事だと思う。</li> </ul>	子ども若者課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
小田	<p>・私が今取り組んでいるのがトビシマカンゾウを食用に栽培すること。地域おこしのため、野草茶にブレンドしたり、カンゾウビールの商品開発等取組みを進めている。昨年は市からの補助で栄養成分の分析をした。今後は、トビシマカンゾウを佐渡市の産業、新しい特産品という様な形での取組みができたかと考えている。生産増もあるが、販売の問題もあり、それらをトータルで進めるため、市の担当部署が産官学で協力し、進めていく形で取組んでいければということをお願いしたい。</p>	<p>・順番が逆の様な気がする。トビシマカンゾウをやるのであれば、佐渡をトビシマカンゾウの島にするんだというくらいのプロジェクトプラス、そこから出たものを活用していくという考え方をされた方が色んな意味でやりやすいのでは。佐渡でカンゾウの花をいっぱいにしようとする佐渡全体の取組みになり、その中で多くの人を巻き込みながらやることがベストだと思う。</p>	総合政策課
大倉	<p>・空家の問題があったが、親戚に空家があり、相続の問題でも誰も引取り手がなく、できれば手放したい状況。そういう物件でも、相続放棄させた上で佐渡市が引き受けてもらえるようお願いしたい。</p>	<p>・佐渡市はあまり貰っていない。貸していただけると固定資産税はかからない。貸していただきいつでも売っていいという証拠があれば、そこに住んでいる人に将来売ることも可能で、そうしたパッケージを作っていきたい。使える空家の活用方法として佐渡市がやるという理解。</p> <p>・将来的に売っても良いが、売るときが一番の問題は移住者がいるとき田畑がついていると、農地法の関係で簡単に売れないので、買うというより借りる形で、将来的に欲しい人がいれば間を通していくことも不動産業でやっている。色々相談して貰い、可能性を色々考えていきたい。</p>	地域振興課
南片辺	<p>・海岸のゴミの問題がうまく処理できていないと感じている。県でやるべき所、市でやるべき所等区分がうまく進んでいない。</p> <p>・除雪の件だが、今年かなりの大雪になり、除雪をする業者も昔と比べると物凄く減っている。減っているがゆえに機動力も少なくなっている。この辺、県との協議もあるかもしれないが、市長で何か対策があれば考えていただきたい。</p> <p>・光回線が金泉まで来ている。南片辺トンネルからは光が届いていない。これをいち早く何とかしていただきたい。</p>	<p>・漂着ゴミは大きな問題。ただし市が全部拾って歩くわけにいかず、ボランティア等をお願いして、ゴミがあったら市が回収するという仕組みを含めやっている。行政の金で全部とれということだと正直難しいので、地域のボランティア、企業のボランティアも交えながら、SDGs未来都市という中でやっていく。</p> <p>・除雪の問題は本当に難しく、まず国道、県道からやらなくては次の市道に行けない。今やろうとしているのは、佐渡全体、現在は相川なら相川、佐和田なら佐和田で連携体制を組んでいる。これを佐渡全体で応援できる様な仕組みを建設部の方で作りたいということで、建設業界を含め議論に入っていくと思う。島内の運営体制を含め、円滑にできる様、今議論している。除雪体制も含め、この災害が良いきっかけになったので、しっかりと色々話をさせていきたい。</p> <p>・光回線は私が就任してからすぐにNTTを呼んで、佐渡全体を光化してくれということで、総務省に掛け合い、総務省とNTTが話をしてやるという話をいただいた。</p> <p>○工事は今年6月に完了する予定とのこと。</p>	環境課 建設課
石花	<p>・高千消防署の職員の要員配置の件で、救急車と火災が同時にあると、以降何かあっても対応できないという話を聞いたが、今の要員配置で対応できるのか。</p> <p>・老人クラブと公民館で市から補助金を貰っているが、その使い道、内容が対象内、対象外と二つの項目に空かれていて、もっと簡単にできないか、領収書を等をきちっと揃えれば飲食費に使っても良いと思うが、その辺がどうかを質問したい。</p>	<p>・消防署の件は、いればいるだけ良いというのは分かるが、それを全部賄える職員を置いたら佐渡市は破産する。消防職員今180人。これが消防30分、救急15分圏内というギリギリの世界。消防は2交代でやるので人数が余計にいる。今後、市や地方交付税という市の基本的な運用をするお金が減っていく中で、一番大きいのが人件費であり、これを削って行くことがこれからの行政の一番難しい所。合併時1,600人で消防180人、今1,200人で180人、今後800人になっても消防は180人。こうなるとどれだけ消防の負担が行政全体にとって大きくなるか理解していただけたらと思う。そういうことでこれ以上増やすのは本当に厳しい。どうしても外れ外れに行くと、そうした不利益性が出てくるので、そこは理解しながら、できるだけ迷惑がかからない様に消防長とも話をしている。</p> <p>・1回公民館の金を貰ったら3年間継続するというのは私が社会教育課長の時に撤廃させたが、実はまだそれが残っている。私の方から教育委員会に伝え、対応を考えさせる。</p>	消防署 教育委員会

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
石花	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から補助金が老人クラブに行く、公民館の補助金に行く、その両方の金を色分けしないといけない様な形になっているので、その解消ができないか。</li> <li>・会計上は集落の会計、老人クラブの補助と会費でみんな纏めて会計をやっている。例えば総会の飲み物、アルコールを会計上には載せるが、それが集落の補助から出したのか、会費から出したのかが分からない。</li> <li>・補助の会計と集落の補助と会費との会計を二つ作らなければならないのか。</li> <li>・細かく分けるということか。</li> <li>・そういう細かいことを言っているから、老人クラブ、各集落、公民館を含め、成り立たずやめる方が多い。その辺の改善をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは補助金自体を変えないとかなり難しい。</li> <li>・それは分けなければダメ。</li> <li>・会計は一つでいい。どのお金にそれを充て込んでいるかが分かれば良い。例えば、会計が4月からの支出があるとして、ビール買いました、お酒買いました、活動しました。この例えば10万貰った活動の10万はここに充てます。ビールとあれは集落から充てますという風に、会計簿の色を塗り変えておけば良い。領収書はある。</li> <li>・証拠ができるかどうかなので、結局さっき言った様に行政のお金でお酒を飲まれると困る。補助は分けておけば良いだけ。詳しいことは支所に聞いてもらえれば、ちゃんと説明させる。</li> <li>○後ほど相川支所で確認させてもらいたい。</li> </ul>	教育委員会
石名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道から少しはなれた所に消防団の車庫があり、そこへのアプローチは私道を通る必要がある。また、その私道は海岸堤防沿いの道路と県道をつなぐ集落の重要な道路となっている。しかし、地主からは私の代では通行は問題ないが、代替わりしたらわからないと言われている。これらのことから、私道の公道認定をお願いしたい。それが無理であれば、少し離れた所に配置しても何ら問題のない赤道があるので、その付け替えをお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤道は詳しいことはすぐには分からないが、色々付け替えも難しい点があるのは事実。だからできないというのがどういう意味でできないのか報告を受けていないので分からない。この仕事はまさしく支所長の仕事ですので、しっかりやらせて、きちっとした理由を。まず説明をお願いしたい。</li> <li>○産業建設係の方で何回もこの市道認定については基準を満たせないのという話をされていると聞いていますので、総代さんを含め、また説明をさせていただく。</li> </ul>	建設課